

平成 30 年度 事業計画



岡山理科大学附属中学校

優れた教育内容を提供し、学んでいる子どもたちの学力をさらに伸ばし、難関大学・難関高等学校入試を突破するだけでなく、社会に出て各分野で活躍できる人材を育成します。



社会のグローバル化や産業構造の転換等により、個人個人に求められる能力が変化しつつあります。持続的に発展する社会に素早く

対応しながらも、自らの人生を切り開く力が重要です。そのために、次の項目に重点を置き教育します。

○人格形成と学力育成

自己実現を叶えるためには、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動できるようになる必要があります。そのために、知識・技能のみならず思考力・判断力や表現力、そして主体性・論理性という「真の学力の伸長」に取り組んでいきます。

また、日々の学校生活をとおして、基本的学習生活習慣をつけさせます。

○国際理解と国際力向上

グローバル社会の到来を踏まえ、異文化を理解させ、国際力をつけさせることは、自己の表現力が付いた強い人間の養成につながると考え、英語力の強化に取り組みます。

○家庭との信頼関係

家庭と学校を繋ぐ生活記録ノートの活用により、生徒個々の家庭と密着に連携し学校内の様子等が伝わりさらなる信頼が得られるように努めます。

○組織力の向上

安定した学年運営を行うために、教職員の意識改革を行い組織力の強化に努めます。

○経営基盤の安定化

生徒確保に向けて学校組織全体で広報活動を強化しながら教育改革を進めます。生徒及び保護者が満足できる学校とするために、安定した経営基盤の構築に教職員が一丸となって努めます。

私たち教職員一同は、加計学園建学の理念の下、「立志三風」を掲げ、「生活三則」の指導に一丸となって取り組んでいきます。

立志三風

- 一、慎独・去稚心の志風と守る（自主）
- 一、振気・勉学の良風と尚ぶ（努力）
- 一、忠恕・爽凜の美風と養う（友愛）

生活三則

- 一、場と清めましょう
- 一、時と守りましょう
- 一、礼と正しましょう

岡山理科大学附属中学校

校長 洲脇 史朗

教学の充実

■クラス編成

2017年4月入学生より、高校進学クラス（定員40名）と中高一貫クラス（定員40名）と2種類のクラス編成になりました。高校進学クラスは、難関公立高校や難関私立高校への進学を目指します。1・2年生の中高一貫クラスは、国公立大学や難関私立大学への進学を目指します。

3年生は中高一貫コース（定員80名）で、難関大学への進学を目指すスーパー選抜クラスと大学進学を目指す選抜クラスという2種類のクラス編成になっています。【1-1】

■共通の教育目標

少人数教育を生かして、生徒の学力の向上を進めます。また、基本的な生活習慣を確立して、集団の中で協力しながら生徒が主体的に活動できる力を身につけるよう指導します。そして、国際的な視野を持ちながら、自己の将来を見据えて生徒が進路選択できる力を身につけるよう指導します。【1-2】

■クラス別教育目標

・高校進学クラス（第1・2学年）

難関高校への進学に必要な学力の養成に努めます。また、高校で求められる、自分の考えをわかりやすく説明できる力の養成に努めます。【1-3】

・中高一貫クラス（第1・2学年）

基礎学力を充実させるところから始め、それをふまえて国公立大学や難関私立大学への進学に必要な学力の養成に努めます。また、科学的・論理的な思考能力を高め、探求活動を推進させます。【1-3】

・スーパー選抜クラス（第3学年）

自ら進んで学習する「自学習」を身につけることで、国公立大学への進学に必要な、バランスのとれた高い学力の養成に努めます。【1-3】

・選抜クラス（第3学年）

基礎学力の充実を図り、学ぶことの大切さや探求心を身につけ、大学進学に通用する能力の養成に努めます。【1-3】

■生徒による授業評価・教員自身による授業評価

確かな学力を育むために、教員の授業改革が生徒にどのように受け止められているのかを知り、生徒の側から捉えた授業改善を進めるとともに、教員自らが自己評価を行いながら改善点を明らかにして、授業改善に生かします。【2-1】

■授業計画書の作成

全科目の授業計画書を作成し、授業内容及び授業進捗を生徒・保護者が理解できるようにし、円滑な学習活動を助けます。【2-2】

■自習教室の開設

全学年の生徒を対象とし、自学自習の習慣を身につけることを目的に、岡山理科大学と連携し、教員志望の大学生を講師とした自習教室を通年で週3日、放課後に開講します。【3-1】

■論理力向上のための取り組み

国語授業の中で「論理エンジン」を副教材として取り扱い、論理的な文構成の把握や文章作成の能力を養います。また「論理文章能力検定」や「作文検定」を受検し、論理的思考力・表現力の定着度を図ります。【3-2】

■英会話

英会話を1～3年生の全クラスで実施し、自分から積極的にコミュニケーションをとれる姿勢を養います。また、1・2年生から大学入学共通テストを見越し、4技能（聞く、話す、読む、書く）に対応したケンブリッジ大学英語検定のコースブック・英語教材を使用しています。

また、教員の授業力強化のため、ケンブリッジ大学英語検定機構認定西日本試験センターJP176と連携を継続します。【4-1】

■実用英語技能検定・漢字能力検定を全生徒に実施

- (1) 1年在籍生徒の9割以上が5級以上の取得を目標とします。【5-1】
- (2) 2年在籍生徒の8割以上が4級以上の取得を目標とします。【5-1】
- (3) 3年在籍生徒の6割以上が3級以上の取得を目標とします。【5-1】
- (4) 教員が生徒に対し、積極的に受検指導を行います。【5-1】

■TOEIC Bridgeを1・2年生の生徒に実施

- (1) 2年終了時には180満点中120点をスコアとすることを目標とします。【5-2】
- (2) 150点を超える生徒にはTOEIC受験を積極的に促します。【5-2】

生徒指導

■社会性規範育成への取組

社会的なモラルを踏まえて外部講師による講演などを活用し、規範意識の啓蒙に努めます。学校独自としての規則だけではなく、アクティブラーニングやプレゼンテーションの指導を通じ、その場の状況に適した言動が取れるよう、常日頃から生徒への指導や話し合いを行います。【1-1】

■服装指導の実施

服装モットーは「凜とした爽やかさ」です。規定のものに限らず全てにおいてTPOに合わせ、清潔さを持った着こなしを指導します。【1-2】

■挨拶の励行

職場体験や発表などを通し、気持ちを込めて挨拶ができるように、また、正しい言葉遣いができるように指導します。この指導が面接での自己表現力に繋がるように努力します。【1-3】

■将来につながるリーダーの育成

体育祭、爽凜祭(学習発表会)、球技大会、オープンスクールなど様々な学校行事は実行委員が主体的

に運営しています。生徒が自主的に活動する中で企画力、実践力、思考力などを学び、個々の人間形成力を育成します。【2-1】

■情報教育

生徒のインターネットリテラシーの現状を踏まえ、情報モラルの向上に努めます。その一環として岡山県警察本部より講師を招き、「インターネットモラル教育」の講演を実施します。また、SNS等個人情報の適切な扱いを指導します。【3-1】

■家庭、地域社会との協力・連携強化

スクールバスの乗車指導・通学指導などの登下校指導の実施、毎日の生活記録ノートの確認などを通じ生徒の学校生活や地域および家庭での生活などをサポートします。【4-1】

■教育相談室・保健室との連携

思春期である中学生期を心身とも健康に過ごせるように、生徒指導課と教育相談室及び保健室が綿密に連絡を取り、連携を強化します。【4-2】

教務関係

■授業・学習関係

- (1) 1単位あたり年間35時間の授業時間を確保します。また、行事などで授業時間が確保できない場合があるため、夏期補習期間などを利用して、補充授業を設けます。【1-1】
- (2) 自習教室や平日補習を利用し、クラスの種別に関係なく、授業で理解できなかった部分を補う機会を設けます。【1-1】
- (3) 夏期・冬期・春期休業期間中に補習を実施します。【1-1】

■カリキュラム・シラバス関係

- (1) 2017年度からの高校進学クラスと中高一貫クラスの授業進度は、2年生まではほぼ同じように進めます。3年生では、高校進学クラスの授業の中で高校入試対策を実施し、中高一貫クラスの

授業では一部高校の学習に繋げるための学習を行います。【1-2】

- (2) スーパー選抜クラスと選抜クラスについては、学習内容の理解度に応じた指導が可能なシラバスを作成しています。授業で復習が十分できない場合は、先取り学習に固執せず、学習内容の定着を第一とし指導します。【1-2】

■ 考査関係

- (1) 定期考査の成績処理終了後、各教科各学年の学習定着状況を把握し、授業計画書を見直します。【2-1】
- (2) 成績不振と判定する基準点を設け、基準点に達していない生徒への指導を行います。指導期間中の部活動は原則禁止とします。【2-1】

■ 校外模試

- (1) 学習の定着度をはかり、全国との学力比較や各生徒との弱点の把握などのために、校外模試を受験します。【2-2】
- (2) 高校進学クラスでは、県内の高校入試対策の「チャレンジテスト」等各種模試を受験します。【2-2】

■ 授業改善

これからの授業に必要とされるアクティブラーニングでの授業やICTを利用した授業方法、評価方法などの教職員研修会を定期的実施します。さらに、「Classi」（ベネッセ）を利用して、教員間の情報共有を図ります。【3-1】

生徒募集

■ 塾との関係の強化

中学校入試における私塾の影響力は大きく、多様化する生徒保護者の進路実現に向けて、各塾に対しタイムリーに情報発信をします。

従来の塾訪問に加えて「通勤経路型塾訪問」を実施し、それぞれの塾に本校教職員の担当固定化を行い、相当数の塾訪問を計画し、円滑に実施します。

さらに、入試結果を踏まえた塾対象入試説明会を

6月中旬に実施予定です。【1-1】

■ 情報提供

・オープンスクールや理科実験教室のアンケートによれば、参加動機の上位には常に「小学校からの案内」がランクインしています。小学校の自由研究系課題とリンクさせた企画内容を維持するとともに、印刷物等により案内を行います。【1-2】

・オープンスクールや入試だけでなく、学校の情報をインターネット等でも、迅速に幅広く提供します。さらに、直前には新聞等の告知を行い、生徒確保に努めます。【1-2】

・受験生や保護者の関心の高い卒業後の進路について、卒業生の進路実績と本校での思い出を印刷物等で積極的に紹介します。【1-2】

■ 広報企画

昨年度も実施した「県立中学校適性検査対策講座」等には多くの児童保護者の参加がありました。今年度も継続実施し、本校教職員の各入学試験分析力と入学試験作題力の向上を目指します。

また、学校見学（個別オープンスクール）にて、児童保護者に対し平素の学校を見学する機会を設け、3年生で開講している学校設定科目「理科実験」の授業日を積極的に呼びかけます。

- ① 県立中学校適性検査早期対策講座（5月）
- ② 県立中学校適性検査対策講座（10月）
- ③ オープンスクール（6月、8月）
（本校教職員による参加体験型授業）
- ④ 理科実験教室（7月）
（岡山理科大学教員による参加体験型授業）
- ⑤ トワイライト天体観測（9月）
- ⑥ ホームページ更新・・・見やすく、分かり易い内容に改善、研究。
- ⑦ 学校新聞「VIVA理中」・・・年4回発行
- ⑧ 募集要項・・・8月下旬までの完成を目指します。【1-3】

■ 入試制度の検証

入試制度を検証し、受験生増につながる入試制度の策定に取り組みます。【2-1】

組織力の向上

■学校運営会議の強化

校長、教頭、課長で組織し、開催します。学校全体の運営方針に基づき、学校運営が円滑にかつ革新的に進むよう、学校業務の企画立案および連絡調整を強化します。 【1-1】

■教科会議・学年団会議の強化・連携

各教科において、教科主任を中心とした教科会議を開催し、授業改善等の取組みを推進し、情報を共有することで、効率的な生徒の学力向上を図ります。

また、学年団会議において、生徒の情報を共有することで、的確な指導を行えるよう努力します。

【2-1】

主な行事予定

4月7日	始業式
4月9日	入学式
4月14日	授業参観
4月19日	健康診断
5月26日	PTA総会
6月14日	音楽鑑賞
9月23日	体育祭（岡山ドーム）
10月17日～ 19日	修学旅行
11月10日	爽凜祭（学習発表会）
1月18日	百人一首大会
2月1日～2日	校外活動
3月14日	義務教育修了式
3月16日～ 24日	海外研修
3月22日	終業式

生徒・教職員数

■在籍生徒数

(平成30年5月1日現在)

学校名	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
岡山理科大学附属中学校	80	35	240	118

(単位：人)

■教職員数

(平成30年5月1日現在)

校長	教頭	教諭	教員計	事務職員
1※	1	11	12	1

※校長は附属高等学校と兼任

(単位：人)

財務関係

■事業活動収支

(単位：千円)

科目		30年度 予算額	前年度 決算額
教育活動 収入	学生生徒等納付金収入	63,159	75,750
	経常費等補助金	56,695	62,705
	その他収入	2,449	25,471
	計	122,303	163,926
	教育活動 支出	人件費	110,255
教育研究経費		32,479	24,432
管理経費		16,258	13,665
その他支出		0	9
計		158,992	184,014
教育活動収支差額		△36,689	△20,088
教 活 外	収受取利息等	0	0
	支借入金利息等	0	0
	教育活動外収支差額	0	0
経常収支差額		△36,689	△20,087
特 別	収資産売却差額等	0	0
	支資産処分差額等	0	0
	特別収支差額	0	0
基本金組入前収支差額		△36,689	△20,087
基本金組入額合計		0	△2,322
当年度収支差額		△36,689	△22,409

岡山理科大学附属中学校

中期計画の進捗状況一覧

教育の充実		H29	H30	H31	H32	H33	中期計画
1 - 1	高校進学クラスの設置						教育の充実
- 2	共通の教育目標						
- 3	クラス別教育目標						
2 - 1	生徒による授業評価・授業者自身による授業評価						教育の質保証
- 2	授業計画書の作成						
3 - 1	自習教室の開設						基礎学力の向上
- 2	論理力向上のための取り組み						
4 - 1	英会話						コミュニケーション力の向上
5 - 1	実用英語技能検定・漢字能力検定を全生徒に実施						資格取得支援の向上
- 2	TOEIC Bridgeを1・2年生の生徒に実施						
生徒指導		H29	H30	H31	H32	H33	中期計画
1 - 1	社会性規範育成への取組						マナーの向上
- 2	服装指導の実施						
- 3	挨拶の励行						
2 - 1	将来につながるリーダーの育成						人間形成力の向上
3 - 1	情報教育						情報教育の充実
4 - 1	家庭、地域社会との協力・連携強化						生徒支援の強化
- 2	教育相談室・保健室との連携						
教務関係		H29	H30	H31	H32	H33	中期計画
1 - 1	授業・学習関係						教育の充実
- 2	カリキュラム・シラバス関係						
- 3	クラスの編成						
2 - 1	考査関係						基礎学力の向上
- 2	校外模試						
3 - 1	授業改善						教育の質保証
生徒募集		H29	H30	H31	H32	H33	中期計画
1 - 1	塾との関係の強化						広報活動の強化
- 2	情報提供						
- 3	広報企画						
2 - 1	入試制度						入試制度の検証
組織力の向上		H29	H30	H31	H32	H33	中期計画
1 - 1	学校運営会議の強化						学校運営の強化
2 - 1	教科会議・学年団会議の強化・連携						情報共有の強化